人工骨頭置換術を受けられるID: 様へ

パスコード:09006 世代:2 発行日:1900/01/00 日 日 日 月 日 日 日月 月 日 月 日 月 日 日 月 手術前日までに行うこと 手術当日(手術前) 手術前後の流れについて理解 手術、麻酔の不安を ができる。 最小限に過ごせる。 項目 手術後2日目 手術後3日目 手術後4日目 手術後14日目 退院·転院日 手術まで体調のコン 痛みの増強なく過ごすことが 痛みの増強なく過ごすことができ 退院・転院できる。 痛みを訴えることができる。 床ずれがおきない。 痛みの増強なく過 トロールができる。 ができる。 ごすことができる。 リハビリを開始すること 合併症がおこらない。 痛みの増強なく過ごすことができる。 ができる。 必要物品が準備できる。 床ずれがおきない。 車椅子、歩行器、杖などの移 歩行器歩行、杖歩行をすること 感染を起こさずに過ごすことができる。 動方法がわかる。 ができる。 脱臼について理解できる 見守りのもと安全に入浴を行うこ 見守りのもとシャワー浴を行 うことができる。 とができる。 達成目標 浴槽への出入りの方法がわか シャワー浴の方法がわかる。 二次骨折予防に関する退院後 脱臼肢位が理解でき、日常 生活動作を安全に行うことがでの生活における留意点が理解でき 持参薬の確認をしま
午前の手術の方は、前々日に
午後の手術の方は、 抗生剤の点滴を行います。 朝、看護師が薬を用意 転院後のリハビりや入院生活について説明を行います。 食事がとれないため点滴します。痛み止めの内服薬がはじまります。 下剤内服、前日に浣腸します。 午前中に浣腸します。 治療・薬剤 を続けます。 午後の手術の方は、手術前日 指示された薬だけを (点滴・内 に下剤内服をします。 少量の水で飲んで下さ ×/ 処置 ・リハビリ 足の爪切りをします。 手術翌日に内服する薬をセッ 採血があります。 適宜採血があります。 適宜採血があります。 採血があります。 適宜レントゲン撮影がありま 適宜レントゲン撮影があります。 検査 骨密度の検査があります。 痛みが強くならない程度に移動して下さい。 ベッド上安静です。 車椅子に乗ることができ 介助にて病棟の枕で横向 ます。 痛い場合は歩行器などあります。 きになれます。 1日目からリハビリが開 安静度 始されます。 内科的な病気のある方は医師の指示に伴い治療食で 当日朝から絶食です。 水分は腸の働きを確認し 次の日の朝から食事が 水分は主治医の指示にてから始めます。 す。間食は控えて下さい。 始まります。 入浴して下さい。 (必要時介助いたしま 体拭きを適宜させて頂き 洗面は朝・夕にタオ 洗髪をします。 体拭きをします 医師による傷の確認後、シャ 医師の確認後、浴槽に入ること 洗面は朝・夕 ワー浴が開始します。 ルとうがい水を渡しま 洗面は朝・夕 ができます。 にタオルとうが にタオルとうが 看護師の見守りのもと浴槽へ入 洗面は朝・夕にタオルと 看護師の介助のもとシャ 清潔 い水を渡しま い水を渡しま うがい水を渡します。 ワー浴をします。お風呂の動作 ります。お風呂の動作に慣れるま に慣れるまでは介助します。では介助します。 手術中に尿の管が入ります 尿の管を抜きます。 6 抜いた後は車椅子でトイレ 排便は便器でとります。 排泄 に行けます。 今後の生活につい オムツ1枚とビニール袋2枚を 手術予定時間の30 傷の痛みが出ることがあり 便秘になりやすいため、 退院後の生活を具体的に考えていくために、家族や住宅環境に 退院(転院)に向けて不安はありませんか?何でも構い 分前もしくは60分前に ます。痛みがあれば、我慢 水分をしっかりとりましょしな家族の方は来棟して せずに申し出て下さい。 て、担当チームと一緒 準備してください。 ませんので、質問して下さい。 に相談をはじめていき 手術についてわからないこと 介護保険などの社会制度・福祉サービスの情報提供を行い、今 があれば何でも聞いて下さい。 後の生活について相談します。 患者様及び ご家族への

この予定表は、病状にあわせて、その都度変更する場合がありますので、ご了承下さい。 主治医: